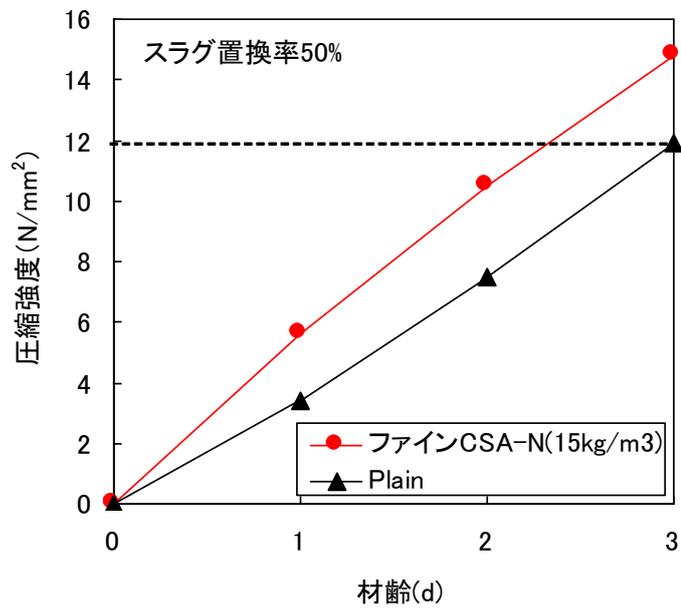


整理 No.	24	分類	コンクリートがれき、未利用資源																			
会社名	電気化学工業株式会社																					
担当者	五十嵐 数馬																					
連絡先	TEL	03-5290-5361	FAX	03-5290-5085																		
	E-mail	kazuma-igarashi@denka.co.jp																				
技術の名称	デンカ ファイン CSA-N																					
概要 (150字程度)	海水を含むがれきの利用では、アル骨や塩化物イオンによる鉄筋腐食が想定され、高炉セメントの使用が前提となる。しかし気温の低い冬場、初期強度の発現に時間を要する場合がある。デンカファイン CSA-N は、コンクリートの凝結や強度発現を促進する。ブリーディングの抑制や乾燥収縮ひずみの抑制効果も期待できる。																					
技術登録等	特になし																					
技術の概要	<p>(1)作用機構</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エトリングait生成と、セメントの水和反応を促進することで、コンクリートの凝結や強度発現を促進する。 <p>(2)標準添加量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート1m³あたり15～30kg/m³ <p>(3)使用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生コンプラントでコンクリートを練り混ぜる際に、デンカファイン CSA-Nを配合する。 <div style="text-align: center;"> <table border="1"> <caption>コンクリートの圧縮強度の測定例</caption> <thead> <tr> <th>セメント種別</th> <th>配合量 (kg/m³)</th> <th>4hr40minの圧縮強度 (N/mm²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">普通セメント</td> <td>0</td> <td>12.4</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>25.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高炉セメント</td> <td>0</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>11.8</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>16.6</td> </tr> </tbody> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・高炉セメントでも圧縮強度の増進効果あり。 ・30kg/m³配合で、普通セメント以上の強度を発現。 <p>セメント量：446kg/m³、水量：155kg/m³、水比：34.8% 20℃で練り混ぜ⇒前置40分⇒50℃3hr保持</p> <p>図1. コンクリートの圧縮強度の測定例（蒸気養生）</p>					セメント種別	配合量 (kg/m ³)	4hr40minの圧縮強度 (N/mm ²)	普通セメント	0	12.4	20	22	30	25.1	高炉セメント	0	5.8	20	11.8	30	16.6
セメント種別	配合量 (kg/m ³)	4hr40minの圧縮強度 (N/mm ²)																				
普通セメント	0	12.4																				
	20	22																				
	30	25.1																				
高炉セメント	0	5.8																				
	20	11.8																				
	30	16.6																				
次頁	あり・なし																					

技術の概要
(つづき)



セメント量：290kg/m³、水量：165kg/m³、水比：57%

20℃で練り混ぜ⇒型枠内で20℃標準養生

図2. コンクリートの圧縮強度の測定例（標準養生）

詳細は別途カタログをご請求下さい。